

謹んで申し上げます。

本格的な夏の訪れが感じられる今日このごろです。

ペアレンツキャンプのみなさまには お元気でお過ごしのことと存じます。

さてこの度1年8ヶ月の支援を受け卒業の日を迎えることが出来ました。本当に、ありがとうございます。

毎日、当たり前に登校していく息子の姿を見て、改めて感謝の気持ちでいっぱいになります。

心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

息子は、中学1年生の7月に不登校になりました。

小学生の高学年から行き渋りがありました。

どうにか五月雨登校を続け小学校を卒業しました。

中学生になり頑張って毎日登校していました。

私も、不安ながらも「頑張れ！頑張れ！」と思っていました。

しかし、不安は現実になりました。

7月のあと少しで夏休みというあの日、「行きたくない。」

と言いました。その日から、行くことができなくなりました。

本当に、どうしていいのかわかりませんでした。

2学期が始まって、何も変わりませんでした。

この頃 私だけで スクールカウンセラーに相談に行きました。

「子供が元気になり 重き出あのを待ちましょ。」と言われました。

私からみれば 子供は元気なので、でも学校に行けません。

どうしたら よいのか…… 毎日毎日 心配して 精神的に参つて

きました。「学校まで来てくれれば、相談にのれます。」と

言われましたが 家から一歩も出ることができないので。

困りました。これは、もう 訪問カウンセリングしかないと

色々探し ようやく見つけたのが、ヘアレスツキャンプでした。

あの時、ホームページでヘアレスツキャンプを探ることができ
そして支援をお願いすることができ ほんとうに良かったと今
改めて思っております。

支援を始めて すぐに PCM (親のカウンセリングマイナー)に
ついて 知りました。水野先生の著書を何回も読みました。
心にガサガサと刺さりました。私が今まで 子供のために
良かれと思っていたことが、子供の成長・自立を妨げて
いたのだと思い知らされました。

家庭ノートで、毎日の親子の会話を書いてみると、いかに私がいかに配のあまり先回りしてメイ・シ・テイ(命令・指示・提案)をしていたのかほんとうによく分かりました。

最初のころは、これを言ったら過干渉かな? 大丈夫かな? とよく悩みました。でも、支援を続けていく中でだんだんと理解あることができました。

PCMは、いかに大切か卒業する今だからこそ改めて肝に銘じておこうと思います。ありがとうございます。

息子は、不登校になり自立する機会を与えられたと思います。まだまだこれからいろいろな問題かいてくると思います。そんな時は、先生たちたらたら何と声を掛けるかな? どうするのかな? と自分に問いかけて悩みながらも一步一步進んでいこうと思います。

親子ともども、いつも全力で支えて下さったこといじり感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

全国を飛び回るとてもお忙しい毎日だと思いきわがくれぐれもご自愛下さいませ。

かしこ